

目下、福島フォーラムで上映中です。



福島県はなんと8月6日にプルサーマルの受け入れを決定。(広島の日)

そしてものすごい短期間でプルサーマル用の燃料(プルトニウムとウランの交じったもの)を搬入し、9月17日深夜、起動しようとしたら制御棒が抜けないというトラブルが発生。それでも無理矢理起動。その前に、同じ福島原発6号機で間違って5号機のケーブルを外して冷却水が止まっていて、それに半月以上も気がつかなかったという事件も発覚。プルサーマル起動、直前に解つたらしいが発表を控えていたらしい。

福島の人達はこんな状況で怖くないのだろうか？

前の福島県知事、佐藤栄佐久さんは日本のエネルギー政策、特に核燃サイクル計画を、「弾丸の雨の中を突っ走るブルドーザーのようだ」と表現し、プルサーマルを白紙撤回した。ところが収賄の嫌疑で逮捕されてしまった。

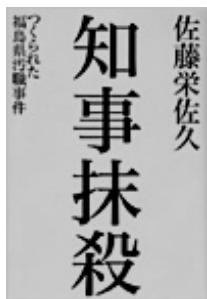
しかし、それはえん罪であり、検察のでっちあげだったと経験を本に書いていらつしやいます。「知事抹殺」を読むと背筋がぞつとします。今回の大阪地検の検事も関与していた模様です。その佐藤さんがアマゾンで「六ヶ所村ラブソディー」を買って観て、わざわざ初日に福島フォーラムまで会いに来てくれ、月曜日にはご夫婦で映画を観て下さいました。「ものすごくいい映画だった、だから監督に会いにきました」と。真摯で、誠実な人柄が伝わってきました。

実は「六ヶ所村ラブソディー」でもインタビューをしていました。東京で推進・反対の学者さんたちが一同に会するシンポジウムを主催していらしたのです。

国策への批判を許さない、というあり方は非常に危険です。私たちは今、その事を見つめて知らなければ、と思うのです。

まず、福島県民にぜひ映画を観ていただきたい!!

「知事抹殺 つくられた福島県汚職事件」 平凡社刊



私はなぜ殺されたのか。
原発、地方分権をめぐって
霞が関と闘ってきた剛腕知事が
東京地検特捜部に無実の罪を
着せられて
すべてを失うまで。
【帯コピーより】



ミツバチ映画へのメッセージ

人が、自分の体と、大地から生み出されるエネルギーとで紡ぎ出す、持続循環型の生活こそが、今求められている最善の答え!!
—— 加藤登紀子

生きている限り、毎日絶え間なくいろいろなものを消費している。でも逆に自分の力で産み出す事だって出来る。たくさんのヒントが詰まった映画です。—— Yae

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映情報

10月9日兵庫県民会館 けんみんホール神戸市中央区下山手通 4-16-3 078-321-2131 【プログラム】開場 14:00 上映 15:00 ☆上映後、鎌仲監督トーク 【参加費】1200円 【主催】祝島サポーターズ神戸
その他京都、神奈川、東京、鹿児島、高知、群馬、福井で上映会 <http://888earth.net/trailer.html> で詳しく案内
10月の劇場公開
大阪シネ・ヌーヴォー(大阪市西区九条TEL06-6582-1416)にて10月9日より二週間毎日一回上映
福島県福島市曽根田町6-4 福島フォーラム 広島県広島市西区横川町3-1-12 横川シネマ
愛知県名古屋市中千種区今池1-6-13 今池スタービル2F 名古屋シネマテーク